

4期計画策定に係る検討事項（※赤字は委員からいただいたご意見）		
	課題	指標等の見直し
がん予防 (たばこ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染対策を考慮した禁煙支援体制</li> <li>●20歳未満の喫煙防止教育の強化</li> <li>●行政機関や医療機関の率先した受動喫煙対策</li> <li>●企業との連携</li> <li>●市町村が主体となる普及啓発、禁煙支援体制の充実</li> <li>●飲食業者等に対する啓発方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終目標に対する評価指標の見直し</li> <li>・禁煙支援取組評価指標（スパイロシフトの活用市町村）の見直し</li> <li>・受動喫煙防止指標の数値設定</li> </ul>
がん予防 (健康的な生活習慣)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染対策を考慮した減塩対策</li> <li>●市町村における減塩対策の推進</li> <li>●生活習慣の改善（適正飲酒、適正体重についての啓発、動画やSNSの活用）</li> <li>●幼少期からの食生活等の健康づくりの取組ができる環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終目標に対する評価指標の見直し</li> <li>・適正飲酒、身体活動、適正体重に関する取組評価指標の検討（周知・啓発・健康教育を行う市町村数等）</li> </ul>
がん予防 (感染症予防)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●肝炎ウイルス検査受診のさらなる啓発、勧奨</li> <li>●HPVワクチン接種の個別勧奨再開による体制、啓発の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B型肝炎予防接種率に代わる指標の検討</li> <li>・HTLV-1、HPV等、個別施策の評価指標について検討</li> </ul>
がんの早期発見	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染対策を考慮した検診体制</li> <li>●啓発イベントや精度管理研修の方法の検討（オンライン・e-learning）</li> <li>●がん検診受診率向上へのさらなる取組み（がん予防推進員の活動支援）</li> <li>●県による市町村支援</li> <li>●働き盛り世代が受診しやすい検診体制の整備、受診期間の拡大、職域との連携</li> <li>●精検未受診者への受診徹底への取組み</li> <li>●がん種による検診精度管理の重点的取組み方法の検討（結果を受けた各医療機関の改善に向けたアドバイザーや研修機会の確保・拡充）</li> <li>●市町村の状況に応じたコール・リコール実施体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の次期がん対策基本計画に基づいた目標値の検討</li> <li>・石綿暴露者の健康管理の充実に関する評価指標の見直し</li> <li>・指針に基づくがん検診の実施市町村数を精度管理の指標に追加</li> </ul>

3期計画のめざす姿や施策は基本的には引き継ぐ。加えて、新たに必要となる取組や強化すべきものを追加（赤字記載）。

- 【がん予防】
  - ・たばこ対策の充実
    - 20歳未満の者の喫煙防止対策をさらに強化
  - ・健康的な生活習慣の普及
    - なら健康長寿基本計画に沿った取組の推進
  - ・感染症予防の充実
- 【がんの早期発見】
  - ・がん検診の受診促進
    - 検診受診率60%を目指したさらなる取組の強化
    - 職域と連携した取組の検討
  - ・がん検診精度管理の充実

# 第4期がん対策推進計画策定に向けて

## 4期計画策定に係る検討事項（※赤字は委員からいただいたご意見）

	課題	指標等の見直し
がん医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染対策を考慮した専門職種研修</li> <li>●がんネットならの周知啓発</li> <li>●がん診療連携拠点病院の指定要件見直しを踏まえた取組みの検討</li> <li>●妊孕性温存療法研究促進事業の充実、周知啓発、相談支援、相談窓口と医療機関の連携、人材育成</li> <li>●がん免疫療法等、「新たながん医療」への対応の充実</li> <li>●がんゲノム医療の進展の計測・評価（パネル検査成績・人材育成等）</li> <li>●小児がんの長期フォローアップ体制</li> <li>●小児専門スタッフ（CLS等）の育成、教育体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者の口腔ケアに関する評価指標の検討</li> <li>・がん医療機能分化推進事業に関する評価指標の検討</li> <li>・小児・AYA世代のがん患者等の支援体制にかかる評価指標の検討</li> <li>・がんゲノムパネル検査実績、薬物専門療法医等育成数・県内配置数</li> <li>・口腔ケア関連評価指標の追加</li> </ul>
がんと診断されたときからの緩和ケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染症対策を考慮した緩和ケア体制</li> <li>●緩和ケアに関する正しい理解の普及</li> <li>●医療従事者への緩和ケア研修会の充実、受講しやすい方法の検討</li> <li>●専門的緩和ケア提供者の育成</li> <li>●疼痛緩和等を目的とした緩和的治療の促進</li> <li>●遺族ケアに関する情報収集</li> </ul>	<p>緩和ケア提供体制に関する評価指標の見直し</p> <p>※緩和ケアの認知度（アンケート）の質問項目の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の苦痛の数値化についての検討</li> </ul>
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅緩和ケア研修会の充実、実施方法の検討</li> <li>●地域連携クリティカルパスのあり方や活用方法の検討</li> <li>●関係機関連携による在宅療養に向けての早期支援</li> <li>●在宅緩和ケアのさらなる周知</li> <li>●ICT化の活用による在宅ネットワークの構築</li> <li>●医療圏ごと等、地域連携のネットワークシステムの構築</li> <li>●AYA世代の患者への在宅ターミナル期に対応できる地域連携</li> <li>●若年がん患者在宅療養支援体制の整備</li> <li>●がんのリハビリテーションの推進</li> </ul>	<p>拠点病院の地域連携体制評価指標の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアパスを整備している拠点病院数</li> <li>・多職種カンファレンスの実施回数</li> </ul>

### 【がん医療の充実】

- ・がん医療提供体制の充実
- ・がん医療の質の向上  
→がんゲノム医療  
妊孕性温存療法 など
- ・患者目線でのがん診療情報の提供
- ・小児・AYA世代や高齢者等のがん医療の連携促進（小児がん拠点病院、在宅医療機関等その他関係機関との連携強化）

### 【がんと診断された時からの緩和ケア】

- ・緩和ケア提供体制の充実
- ・緩和ケアの理解促進と情報提供の充実  
→緩和ケア提供体制及び患者の苦痛の緩和に関する評価指標を検討

### 【地域連携】

- ・拠点病院等の地域連携体制の充実
- ・在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実  
→在宅緩和ケア体制充実のための医療・介護連携の強化

# 第4期がん対策推進計画策定に向けて

## 4期計画策定にかかる検討事項（※赤字は委員からいただいたご意見）

	課題	指標等の見直し
相談支援及び 情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>●感染対策を考慮した相談支援体制</li> <li>●ライフステージに応じた相談支援体制の充実（小児・AYA世代、老年期）</li> <li>●がん患者がタイムリーに情報を得ることができるよう、患者の視点に立った情報提供の充実</li> <li>●ピアサポート活動の質の充実、病院、ピアサポーター、県との連携の強化</li> <li>●がん相談支援センターの周知の徹底、患者への案内方法の工夫</li> <li>●災害時のがん治療及び相談支援の継続（患者に対する平常時からの説明等？）</li> </ul>	ライフステージに応じた相談支援体制の充実に関する評価指標の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児・AYA世代</li> <li>・老年期</li> </ul> 希少がんの相談支援の評価の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者へのがん相談支援センターの案内に関する評価指標の検討</li> </ul>
がん患者の社会的問題への 対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●必要な患者に支援が行き届くよう相談窓口の周知（中高年への情報提供にも配慮）</li> <li>●就労相談担当者への支援（資質向上、人材育成）</li> <li>●就労相談担当者とはがんとがん相談員との連携の強化、外部専門職の活用</li> <li>●両立支援制度利用による企業のメリットについての情報提供</li> <li>●（就学支援）ICTを活用した教育が受けられるような体制構築</li> <li>●教育と医療の顔の見える関係づくり</li> <li>●復学支援に係る体制構築</li> <li>●アピアランスケア支援体制の強化</li> </ul>	両立支援の事例を活用した情報発信に関する評価指標の見直し
がん登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん登録担当者のニーズにそった研修会の検討</li> <li>●がん登録情報を活用した県民への情報提供の充実</li> </ul>	がん登録の精度向上評価指標の見直し
がん教育・知識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新学習指導要領に基づいたがん教育について、教職員への研修や教材の充実（ガイドラインや指導参考資料の作成）</li> <li>●がん教育における外部講師（がん経験者等の活用）の工夫</li> <li>●がん検診の重要性、妊孕性温存療法等、がん教育内容の検討</li> <li>●がんゲノム、妊孕性温存療法に関する市民講座など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めざす姿」の表記の見直し</li> <li>・最終目標に合わせた指標</li> </ul>

### 【相談支援及び情報提供】

- ・相談支援機能の強化
- ・患者目線での情報提供の充実
- ・小児・AYA、高齢者等世代に応じた相談支援体制の整備  
→関係機関との連携の強化

### 【がん患者の社会的問題への対応】

- ・がん患者の治療と仕事の両立支援体制の整備
- ・その他ライフステージに応じた社会的な問題について  
→アピアランスケア、就学支援等

### 【がん登録】

- ・がん登録の精度向上
- ・がん登録データを活用したがん対策の検討・実施
- ・データを活用した情報提供等

### 【がん教育・知識の普及啓発】

- ・中学・高等学校におけるがん教育の充実
- ・小学校（高学年）における啓発活動の推進
- ・がん対策全般に関する普及啓発の推進（特にがんゲノム医療、妊孕性温存療法等）